

浪江町復興計画策定委員会の構成

資料 1

【前回】

復興計画策定委員会

幹事会

有識者	6名	委員として参画
町民委員	76名	委員として参画
役場職員	19名	委員として参画
国・県職員	2名	委員として参画
		103名 (うち、幹事会のみ4名)

ふるさと再建
部会

津波被災地
復興部会

町外コミュニ
ティ部会

生活再建部会

教育・健康
管理部会

産業再生部会



【今回】

復興計画策定委員会

幹事会

(幹事会目的)
両部会の検討の中で、全体的な調整が必要とされる事項などの検討を行う。

まちづくり計画
検討部会

町民協働による
進行管理部会

(目的)

復興計画【第1次】にて整理された、まちづくりの整備方針の具現化を図る。土地利用の在り方や町内での災害公営住宅の建設方針の検討、生活基盤（医療・介護・商工業など）の再生方針について検討を行う。

まちづくり整備計画への提言書として2月を目途に一定程度の成果品をまとめる。

(目的)

計画の着実な実行のため、事業成果の検証や施策実行への課題点を確認し、改善策等の検討を行う。何が達成され、何が課題となり未達成なのかを、町民視点で検証し町の復興・復旧のため、今後の取組みについての助言を行うとともに、計画の進捗状況の可視化（見える化）についての手法検討を行う。

幹事会構成

幹事会 16名

まちづくり計画 検討部会

- 部会長 1名
 - 副部会長 2名
 - 部会員 3名
- [有識者 鈴木浩先生
有識者 鎌田一夫先生
有識者 櫻井常矢先生
町民委員 3名]

町民協働による 進行管理部会

- 部会長 1名
 - 副部会長 2名
 - 部会員 3名
- [有識者 吉岡正彦先生
有識者 丹波史紀先生
有識者 長崎利幸先生
町民委員 3名]

- 両部会の検討経過についての情報共有
- 全体的な調整が必要となる事項の整理

- ・避難先におけるコミュニティ形成について
- ・町単独では解決困難な課題について、国・県などへの制度構築要望の整理

- 復興庁福島復興局（高橋直人次長）
- 福島県避難地域復興局（國分 守主幹）
- 副町長（檜野照行）
- 教育長（畠山熙一郎）

事務局
復興推進課 復興企画係

部 会 構 成

まちづくり計画 検討部会

検討委員

町民委員 31名

復興計画策定委員会委員
意向調査により振り分け

職員委員 12名

各課 課長補佐

有識者 2名

福島大学
鈴木 浩 先生
住まいの研究所
鎌田一夫 先生

オブザーバー

国・県職員等 5名

福島復興局（2名）
県避難地域復興局
県相双建設事務所
都市再生機構（UR）

ファシリテーター
櫻井常矢氏 他2名

コンサル
（会議運営補助）

事務局

復興推進課 まちづくり整備係

各課若手職員 約20名

職員検討会

町民協働による 進行管理部会

検討委員

有識者 3名

福島自治研 吉岡正彦 先生
福島大学 丹波史紀 先生
アパソラフ 長崎利幸 先生

町民委員 26名

復興計画策定委員会委員
意向調査により振り分け

職員委員 16名

係長もしくは担当者

国・県職員 4名

福島復興局 （2名）
県避難地域復興局 （2名）

事務局

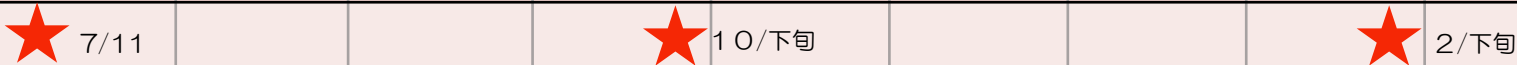
復興推進課 復興企画係

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
--	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----

まちづくり計画検討部会



全体会



町民協働による進行管理

